

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	去勢抵抗性前立腺癌に対するドセタキセル並びに新規アンドロゲン受容体標的薬(ARAT)の治療効果に関する慈恵医大関連多施設共同後ろ向き研究		
1. 研究の目的と方法	去勢抵抗性（ホルモン療法抵抗性）前立腺癌に対するドセタキセルならびに新規アンドロゲン受容体標的薬（アピラテロン、エンザルタミドなど）を用いた治療は広く行われておりますが、治療順序や有効性の違いに関する研究はあまりありません。去勢抵抗性前立腺癌の患者様のデータを収集し、ドセタキセル、新規アンドロゲン受容体標的薬の有効性を明らかにすることが本研究の目的です。		
2. 研究期間	倫理委員会承認後から 2028 年 3 月までを予定しております。		
3. 対象となる方等	対象となる方：2006 年 3 月から 2017 年 4 月までに治療を開始した去勢抵抗性前立腺癌の方を対象としています。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	疾患情報：年齢、PSA 値、前立腺癌の病期、転移の有無、リンパ節転移の有無、治療経過、生存・死亡、最終受診日 など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 泌尿器科講座
		氏名	下村 達也
	(2) 当施設の 長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 試料・情報 の管理責任 者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 機関とその 責任者	富士市立中央病院 泌尿器科 氏名 村上 雅哉 部長（機関の長：児島 章） 厚木市立病院 泌尿器科 嶋 憲一 部長（機関の長：長谷川 節） JR 東京総合病院 泌尿器科 小池 祐介 部長（機関の長：宮入 剛） 町田市民病院 泌尿器科 菅谷 真吾 部長（機関の長：金崎 章）		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>患者情報は研究代表者が各施設より 暗証番号付きの USB にて直接運搬し、東京慈恵会医科大学附属第三病院泌尿器科医局内の PC にデータを保管、USB は処分します。</p> <p>対応表は各機関で保管します。</p> <p>情報の利用開始予定日：2024 年 2 月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>研究代表機関：東京慈恵会医科大学 泌尿器科学講座 研究責任者：准教授 下村 達也（シモムラ タツヤ） 電話番号：03-3480-1151（3565） 対応時間：平日 9:00 ～ 17:30</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。